

## 平成24年度第2回食の安心・安全意見交換会（報告）

- 1 日時 平成24年10月26日（金）午後10時12時まで
- 2 場所 府庁職員福利厚生センター第1会議室（京都市上京区）
- 3 出席者 府内8消費者団体14名、京都府7名
- 4 テーマ 「京都府食の安心・安全行動計画（平成25年～27年度）骨子（案）について」
- 5 概要

- 参加者が固定しているとの意見により、従来の5団体から拡大して実施
- 次期行動計画骨子（案）について、資料を説明の上、意見交換を行った。

### 【主な意見】

#### ○全般

- ・行動計画作成後もPDC Aサイクルでしっかり評価して欲しい。審議会による評価も大切であるが、府職員による内部評価をしっかりやって欲しい。
- ・第1次、第2次行動計画の進捗を可視化した資料が必要
- ・京都府条例に基づく行動計画の作成で、食の安心・安全の取組全体が分かるようになった。

#### ○放射性物質、監視・指導関係

- ・放射性物質、食品添加物、残留農薬、微生物などの検査は、引き続きしっかりと行って欲しい。
- ・放射性物質の検査は、府民が普段食べているものを持ち込んで検査（陰膳方式）できるようにするなど、府民参加型にすれば不安が払拭できるのではないか。

#### ○情報提供強化

- ・消費者の知識の有無によって情報の受け止め方が違ってくる。事業者だけでなく、消費者も勉強していかなければ、自分の安全を守れない。行政からも、食の安心・安全に係る教育や効果的な情報発信に力を入れて欲しい。

#### ○食育

- ・「きょうと食いく先生」については、認定だけで終わってはいけない。食いく先生に活躍してもらえるよう仕組み・財源を確保して取り組んで欲しい。

### 【アンケート結果】（抜粋）

- 多くの活発な意見が出て、消費者がどこに関心・不安を持っているのか私たちもよくわかった。情報の格差がひろがらないような工夫が必要と感じた。
- 京都府として安全な食をめざして、実施されていると思う。多くの考えを聞けて参考になった。

